Evaluation of Japanese Universities' Research Activity Based on the Number of Awards of Grants-in-Aid for Scientific Research —2005 Fiscal Year—
II. Sciences and Engineering

光田好孝、野村浩康、前田正史、前橋至、
根岸正光、柴山盛生、西澤正己、孫媛
Hiroyasu NOMURA, Masafumi MAEDA, Yoshitaka MITSUDA, and Itaru MAEBASHI,
Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA, Masaki NISHIZAWA, and Yuan SUN

NII-2007-002J
March 2007
科学研究費補助金採択研究課題数による
大学の研究活性度の調査研究
－2005年度(平成17年度)版－
II．理工系編

光田好孝*, 野村浩康**, 前田正史*, 前橋至*
* 東京大学 ** 東京電機大学

根岸正光, 柴山盛生, 西澤正己, 孫 媛
国立情報学研究所

Evaluation of Japanese Universities’ Research Activity
Based on the Number of Awards of
Grants-in-Aid for Scientific Research
– 2005 Fiscal Year –
II. Sciences and Engineering

Yoshitaka MITSUDA*, Hiroyasu NOMURA**,
Masafumi MAEDA*, Itaru MAEBASHI*
* The University of Tokyo, ** Tokyo Denki University

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA,
Masaki NISHIZAWA, Yuan SUN
National Institute of Informatics
Abstract

The system of *Grants-in-Aid for Scientific Research* from Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan is one of the oldest ones, which is the funding system for researchers belonging to universities and institutes in Japan. The fund was allotted to each researcher by peer review under the application for their own research projects.

This is the second report for 2005 fiscal year’s version, on the research field of sciences and engineering. The total number of adoption subjects of research projects at 2005 has summed up for each university and institute on individual research field and compared them to those of 2004 which were reported previously.
目次

Ⅰ. 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究について

1. はじめに ................................................................. 1
2. 調査研究に利用したデータベース ........................................... 3
3. 2005度（平成17度）の包括的な状況 ....................................... 3
4. 調査研究の具体的な分析方針 ............................................... 10

Ⅱ. 個別研究費：理工系編

1. 概要 ........................................................................... 11
2. 分野別 ........................................................................ 20
   2-1 数物系科学 ................................................................. 20
   2-2 化学 ......................................................................... 28
   2-3 工学 ......................................................................... 34
1. はじめに

文部科学省（文部省）科学研究費補助金は、1939年（昭和14年）に始まった古くからわが国最大の、国・公・私立大学、国立研究機構等に所属する研究者に対する個人申請とピアレビューによる国の研究費配分制度である。この科学研究費補助金の配分システムが、いろいろな批判はあるにせよ経過を経ながら、わが国の大学の基礎研究を支えてきたと言っても過言ではない。わが国の科学技術の振興を一層図るために、科学技術運営法が作られ、その一環として、いわゆる競争的研究資金である科学研究費補助金に予算が重点的に配分され、図1-1に示すように、毎年予算増が図られてきた。2006年度（平成18年度）には、1,895億円と1992年度（平成4年度）の約3倍に増加し、他の省庁の所轄を含めてわが国最大の競争的研究所金となっている。納税者に対する説明責任という観点からも、科学研究費補助金がどのように配分されているかを総合的に分析・調査することは重要である。

図1-1 科学研究費補助金の予算額の推移

さらに、評価における観点として、科学研究費補助金の採択研究課題数等を個人および機関評価の資料として用いるときのデータの公開性の問題がある。公開され誰にでも入手できるデータに基づき、明示された方法により、評価・順位づけがなされなければならな。この種の資料の整理・公開が非常に遅れていることも、わが国の正確な評価システムの構築を妨げている一因である。この意味から
科学研究費補助金の採択研究課題および金額は、毎年「文部科学省科学研究費補助金採択研究課題・公募審査要覧」（ぎょうせい発行）に公表されており、現在では国立情報学研究所のwebサイトにも公開され、条件さえ整えば誰でもが見ることができる。

科学研究費補助金のような公開データから採択研究課題数を大学別に整理することによりランキングを作成する場合、必ず大学の規模の問題が出てくる。科学研究費補助金採択研究課題数は、いわば英国における各大学のRAS（Research Active Staff）の数に対応するものと考えられる。国立大学の法人化により徐々に運営費交付金の削減が進む中、研究者への研究費について機関配分よりも競争的な個人配分の割合が増加するのは当然の流れである。科学研究費補助金制度は、国・公・私立大学の区別なく研究者個人が申請し研究費を獲得する制度である。採択研究課題数の多い大学は、活発に研究活動をしている教員、英国流に言えばRASが多く所属していることになり、分野ごとの採択研究課題数の多寡は、大学の研究活性度を表すことになる。とすれば、このような資料は、大学当局においても構成員の研究活性度を的確に把握するために欠くことのできないもの、大学ガバナンスの資料でもあるはずである。

この科学研究費補助金制度の根幹をなす仕組みのひとつが科学研究費補助金の「系・分野（部）・分科・細目表」（以下「細目表」という）である。この細目表は基盤研究等の研究種目に関し審査分野の区分を示す分類表である。ここで注意すべきことは、科学研究費補助金の「細目表」における細目構成が基本的にはわが国の学部学科編成と似ていることから、科学研究費補助金の採択研究課題数と学部学科等の大学の組織の人数等を短絡的に比較しから点である。しかし、学部・学科・専攻が学問分野を中心に編成されているものの、研究者がその所属に関係なく実施しようとする研究計画の内容を考え適切な細目を選んで研究費を申請できることは、科学研究費補助金の特徴である。

科学研究費補助金の「細目表」は不急に進展を続ける学問・研究の動向に合った適切なものでなければならず、科学研究費補助金の「細目表」については1993年度（平成5年度）に抜本的改正が行われ、以後5年ごとに見直されることが平成5年度募集要項に付記された。学術審議会科学研究費分科会（当時）に「分科細目改正検討委員会」が設置され、1998年度（平成10年度）は小規模な改正に留められ、2003年度（平成15年度）に大幅な改正が行われることとなった。


科学研究費補助金の採択研究課題数に関する調査 -」として出版した。

本調査報告は、同様の調査研究の2005年度（平成17年度）版である。このような調査研究には連続性が必要であるので、2004年度までの調査研究と同じ方針でデータの整理・分析を行う。2004年度と同様に、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究、特別研究員奨励費）と大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）とその他（特定奨励費、研究成果公開促進費、審査・評価・分析経費）にわけ、個別課題研究費、大型研究費について解析する。

2. 調査研究に利用したデータベース

科学研究費補助金の採択研究課題名等については、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」（ぎょうせい発行）として、毎年10月に公表・刊行されている。また、科学研究費補助金の採択研究課題名や成果概要等については、国立情報学研究所により「KAKEN（科学研究費補助金採択課題・成果概要公開データベース」（URL: http://seika.nii.ac.jp）としても公開されている。このように、科学研究費補助金については、公開されたデータが存在するため、採択研究課題数等を機関評価の資料として用いることが可能である。このことは、2005年（平成17年）6月にユネスコ・ヨーロッパ高等教育センターが呼びかけ開催された高等教育専門家会合において、大学ランキングの望ましい在り方を示した文書「高等教育機関のランキングに関するベルリン原則」にも謳われているデータの透明性にあたる。

本調査研究、特に個別課題研究費の分析には「KAKEN」に公開されているデータベースを用いている。また、予算額等の「KAKEN」から得られないデータについては「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に掲載されている数値を用いた。なお、「KAKEN」には年度当初の採択研究課題に加え年度途中での追加採択研究課題も含まれているため、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に掲載されている数値と一致しない場合があることに注意されたい。

3. 2005年度（平成17年度）の包括的な状況

2005年度の総予算額は、図1-1に示したように、50億円増、2.7%増えて1,880億円である。緊縮財政状況の中では突出した伸びであるといえるが、伸び率が縮小してきていることがわかる。2003年度から2005年度までの項目別内訳について示したものが、表1-1である。これらの項目を、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）、個別課題研究費の一種である特別研究員奨励費、研究成果公開促進費、特定奨励費、大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）、および残りの項目を審査・評価・分析経費として、予算額の割合を図1-2の円グラフに示す。

2003、2004年度に比べて、個別課題研究費が59.3%に微増し、大型研究費が34.7%に微減し、年々大型研究費から個別課題研究費に若干予算が移動していることがわかる。しかし、項目別予算の割合はほとんど変化していない。言い換えれば、全体的な枠組みは近年ほとんど変化しておらず、総予算額のみが増えてきているといえる。
表 1-1 科学研究費補助金の項目別予算額

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>金額単位/百万円</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>(1) 特別推進研究</td>
<td>12,980</td>
</tr>
<tr>
<td>(2) 特定領域研究</td>
<td>40,291</td>
</tr>
<tr>
<td>(3) 基盤研究(S)</td>
<td>7,880</td>
</tr>
<tr>
<td>(4) 基盤研究(A)</td>
<td>20,640</td>
</tr>
<tr>
<td>(5) 基盤研究(B)</td>
<td>34,110</td>
</tr>
<tr>
<td>(6) 基盤研究(C)</td>
<td>19,870</td>
</tr>
<tr>
<td>(7) 萌芽研究</td>
<td>4,600</td>
</tr>
<tr>
<td>(8) 若手研究(A)</td>
<td>4,030</td>
</tr>
<tr>
<td>(9) 若手研究(B)</td>
<td>11,410</td>
</tr>
<tr>
<td>(10) 奨励研究</td>
<td>200</td>
</tr>
<tr>
<td>(11) 特別研究促進費</td>
<td>1,150</td>
</tr>
</tbody>
</table>

小計 157,161

2 研究成果公開促進費

| (1) 学術定期刊行物 | 884 |
| (2) 学術図書 | 685 |
| (3) データベース | 1,416 |
| (4) 研究成果公開発表 | 397 |

小計 3,382

3 特別奨励費

| | 770 |

4 特別研究員奨励費

| | 5,490 |

5 学術創成研究費

| | 8,780 |

6 審査・評価・分析経費

| | 917 |

合計 176,500

図 1-2 2003年度(内周)、2004年度(中間周)、2005年度(外周)の科学研究費補助金の項目別予算の割合
まず、個別課題研究費について、2005年度の採択研究課題数を「分野」別に眺めてみる。採択研究課題数に着目し、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究、および特別研究員奨励費）の分析に用いた「分野」別および研究種目別の採択研究課題数と配分額を表1-2に示す。

特別研究員奨励費を除いた個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）の2005年度の「分野」別の採択研究課題数の割合を図1-3に示す。2004年度と比較すると、総予算額の増加に伴い全体の採択研究課題数が約4.5%増え、「系」別の伸びが総合・新領域系で11.3%、人文社会系で6.4%増えており、これらの伸びに対して、理工系で1.8%、生物系で2.8%しか伸びておらず、その伸び方には差があることがある。

次に、2005年度の採択研究課題数を機関別に眺めてみる。2005年度の特別研究員奨励費を除く研究種目全体の機関別採択研究課題数を表1-3に、その棒グラフを図1-4に示す。1位の東京大学ははじめとして、上位を旧帝国大学が占め、広島大学等の旧文理大学が続くことがわかる。また、医学部を持つ大学が上位に現れやすい傾向が見とれる。このように、採択研究課題全体では各機関の研究分野の特徴が表れにくく、大規模の国立大学が上位にあるように見える。
表1-2 個別課題研究費の分野別研究課題数と配分額（2005年年度）

<table>
<thead>
<tr>
<th>分野</th>
<th>研究種目</th>
<th>総合領域</th>
<th>複合新領域</th>
<th>人文学</th>
<th>社会科学</th>
<th>数物系科学</th>
<th>化学</th>
<th>工学</th>
<th>生物学</th>
<th>農学</th>
<th>医歯薬学</th>
<th>時限付き</th>
<th>研究種目合計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>件数</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>基盤研究(S)</td>
<td>29</td>
<td>28</td>
<td>11</td>
<td>7</td>
<td>37</td>
<td>24</td>
<td>76</td>
<td>25</td>
<td>22</td>
<td>57</td>
<td></td>
<td></td>
<td>316</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>配分額</td>
<td>497</td>
<td>590</td>
<td>171</td>
<td>82</td>
<td>577</td>
<td>436</td>
<td>1,379</td>
<td>452</td>
<td>351</td>
<td>1,083</td>
<td></td>
<td>5,619</td>
</tr>
<tr>
<td>基盤研究(A)</td>
<td>182</td>
<td>191</td>
<td>148</td>
<td>161</td>
<td>196</td>
<td>83</td>
<td>334</td>
<td>93</td>
<td>137</td>
<td>244</td>
<td></td>
<td></td>
<td>1,771</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>配分額</td>
<td>1,853</td>
<td>1,900</td>
<td>1,082</td>
<td>1,265</td>
<td>1,792</td>
<td>989</td>
<td>3,620</td>
<td>909</td>
<td>1,332</td>
<td>2,608</td>
<td></td>
<td>17,349</td>
</tr>
<tr>
<td>基盤研究(B)</td>
<td>878</td>
<td>520</td>
<td>534</td>
<td>734</td>
<td>613</td>
<td>335</td>
<td>1,340</td>
<td>322</td>
<td>709</td>
<td>1,785</td>
<td></td>
<td></td>
<td>7,770</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>配分額</td>
<td>3,749</td>
<td>2,285</td>
<td>1,799</td>
<td>2,518</td>
<td>2,538</td>
<td>1,714</td>
<td>6,321</td>
<td>3,103</td>
<td>8,708</td>
<td></td>
<td></td>
<td>34,319</td>
</tr>
<tr>
<td>基盤研究(C)</td>
<td>1,711</td>
<td>569</td>
<td>1,508</td>
<td>1,770</td>
<td>1,250</td>
<td>441</td>
<td>1,798</td>
<td>468</td>
<td>736</td>
<td>5,266</td>
<td></td>
<td></td>
<td>283</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>配分額</td>
<td>2,230</td>
<td>767</td>
<td>1,459</td>
<td>1,821</td>
<td>1,458</td>
<td>656</td>
<td>2,530</td>
<td>702</td>
<td>1,027</td>
<td>7,537</td>
<td></td>
<td>20,596</td>
</tr>
<tr>
<td>分野別合計</td>
<td>件数</td>
<td>534</td>
<td>284</td>
<td>174</td>
<td>260</td>
<td>248</td>
<td>203</td>
<td>627</td>
<td>165</td>
<td>318</td>
<td>1,359</td>
<td></td>
<td>4,172</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>配分額</td>
<td>757</td>
<td>421</td>
<td>177</td>
<td>286</td>
<td>312</td>
<td>331</td>
<td>966</td>
<td>262</td>
<td>482</td>
<td>2,078</td>
<td></td>
<td>6,070</td>
</tr>
<tr>
<td>萌芽研究</td>
<td>件数</td>
<td>92</td>
<td>61</td>
<td>7</td>
<td>15</td>
<td>58</td>
<td>57</td>
<td>153</td>
<td>42</td>
<td>109</td>
<td></td>
<td></td>
<td>626</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>配分額</td>
<td>600</td>
<td>423</td>
<td>14</td>
<td>54</td>
<td>449</td>
<td>440</td>
<td>1,160</td>
<td>362</td>
<td>231</td>
<td>807</td>
<td></td>
<td>4,538</td>
</tr>
<tr>
<td>若手研究(A)</td>
<td>件数</td>
<td>1,422</td>
<td>469</td>
<td>589</td>
<td>1,217</td>
<td>871</td>
<td>439</td>
<td>1,572</td>
<td>439</td>
<td>575</td>
<td>3,343</td>
<td></td>
<td>10,936</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>配分額</td>
<td>1,846</td>
<td>651</td>
<td>546</td>
<td>1,202</td>
<td>1,085</td>
<td>693</td>
<td>2,213</td>
<td>692</td>
<td>826</td>
<td>4,828</td>
<td></td>
<td>14,582</td>
</tr>
<tr>
<td>若手研究(B)</td>
<td>件数</td>
<td>848</td>
<td>2,122</td>
<td>2,971</td>
<td>4,164</td>
<td>3,275</td>
<td>1,582</td>
<td>5,900</td>
<td>1,554</td>
<td>2,529</td>
<td>12,163</td>
<td></td>
<td>41,391</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>配分額</td>
<td>11,532</td>
<td>7,035</td>
<td>5,248</td>
<td>7,227</td>
<td>8,211</td>
<td>5,259</td>
<td>18,188</td>
<td>4,963</td>
<td>7,352</td>
<td>27,649</td>
<td></td>
<td>103,072</td>
</tr>
<tr>
<td>特別研究員奨励費</td>
<td>件数</td>
<td>5,575</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>5,575</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>配分額</td>
<td>5,394</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>5,394</td>
</tr>
</tbody>
</table>

* 特別研究員奨励費に関してのみ、平成17年度文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧よりデータを採用した。
図1－3 2005年度科学研究費補助金の「系」別(外周)および「分野」別(内周)採択研究課題数の割合
表1-3 特別研究員奨励費を除く研究種目全体 採択研究課題数上位50位（2005年度）

<table>
<thead>
<tr>
<th>順位</th>
<th>種別</th>
<th>機関名</th>
<th>件数</th>
<th>金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>2,840</td>
<td>17,995,755</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>国</td>
<td>京都大学</td>
<td>2,228</td>
<td>11,740,300</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>国</td>
<td>東北大学</td>
<td>1,723</td>
<td>8,449,900</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>国</td>
<td>大阪大学</td>
<td>1,676</td>
<td>8,108,600</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>国</td>
<td>九州大学</td>
<td>1,382</td>
<td>5,260,200</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>1,341</td>
<td>5,136,821</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>1,242</td>
<td>5,818,900</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>国</td>
<td>研波大学</td>
<td>877</td>
<td>2,841,400</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>広島大学</td>
<td>853</td>
<td>2,213,431</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>782</td>
<td>4,074,100</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>国</td>
<td>神戸大学</td>
<td>750</td>
<td>2,319,232</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>国</td>
<td>岡山大学</td>
<td>617</td>
<td>1,746,429</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>私</td>
<td>慶應義塾大学</td>
<td>597</td>
<td>2,251,300</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>国</td>
<td>千葉大学</td>
<td>583</td>
<td>1,728,200</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>私</td>
<td>早稲田大学</td>
<td>518</td>
<td>1,604,500</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>国</td>
<td>新潟大学</td>
<td>494</td>
<td>1,181,900</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>他</td>
<td>理化学研究所</td>
<td>490</td>
<td>2,379,800</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>国</td>
<td>金沢大学</td>
<td>456</td>
<td>1,299,500</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>国</td>
<td>佐倉大学</td>
<td>402</td>
<td>1,112,100</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>国</td>
<td>長崎大学</td>
<td>401</td>
<td>1,396,000</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>国</td>
<td>長崎大学</td>
<td>401</td>
<td>1,396,000</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>国</td>
<td>東京医科歯科大学</td>
<td>384</td>
<td>1,635,000</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>私</td>
<td>日本大学</td>
<td>348</td>
<td>577,400</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>公</td>
<td>大阪市立大学</td>
<td>340</td>
<td>1,777,800</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>国</td>
<td>信州大学</td>
<td>338</td>
<td>684,400</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>国</td>
<td>岐阜大学</td>
<td>334</td>
<td>676,817</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>公</td>
<td>首都大学東京</td>
<td>321</td>
<td>948,000</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>国</td>
<td>鹿児島大学</td>
<td>319</td>
<td>618,700</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>国</td>
<td>群馬大学</td>
<td>313</td>
<td>878,100</td>
</tr>
<tr>
<td>30</td>
<td>国</td>
<td>岐阜大学</td>
<td>279</td>
<td>773,800</td>
</tr>
<tr>
<td>31</td>
<td>公</td>
<td>大阪府立大学</td>
<td>278</td>
<td>679,000</td>
</tr>
<tr>
<td>32</td>
<td>国</td>
<td>愛媛大学</td>
<td>275</td>
<td>783,800</td>
</tr>
<tr>
<td>33</td>
<td>国</td>
<td>静岡大学</td>
<td>249</td>
<td>492,500</td>
</tr>
<tr>
<td>34</td>
<td>国</td>
<td>静岡大学</td>
<td>248</td>
<td>622,600</td>
</tr>
<tr>
<td>35</td>
<td>私</td>
<td>東海大学</td>
<td>228</td>
<td>476,200</td>
</tr>
<tr>
<td>36</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>223</td>
<td>454,900</td>
</tr>
<tr>
<td>37</td>
<td>国</td>
<td>三重大学</td>
<td>220</td>
<td>504,900</td>
</tr>
<tr>
<td>38</td>
<td>国</td>
<td>横浜国立大学</td>
<td>218</td>
<td>709,100</td>
</tr>
<tr>
<td>39</td>
<td>国</td>
<td>福井大学</td>
<td>214</td>
<td>481,900</td>
</tr>
<tr>
<td>40</td>
<td>他</td>
<td>産業技術総合研究所</td>
<td>211</td>
<td>862,500</td>
</tr>
<tr>
<td>40</td>
<td>私</td>
<td>立命館大学</td>
<td>211</td>
<td>467,200</td>
</tr>
<tr>
<td>42</td>
<td>公</td>
<td>名古屋市立大学</td>
<td>209</td>
<td>524,200</td>
</tr>
<tr>
<td>43</td>
<td>国</td>
<td>琉球大学</td>
<td>204</td>
<td>383,200</td>
</tr>
<tr>
<td>44</td>
<td>国</td>
<td>東京農工大学</td>
<td>193</td>
<td>822,500</td>
</tr>
<tr>
<td>45</td>
<td>国</td>
<td>佐賀大学</td>
<td>191</td>
<td>354,572</td>
</tr>
<tr>
<td>46</td>
<td>私</td>
<td>北里大学</td>
<td>189</td>
<td>437,400</td>
</tr>
<tr>
<td>47</td>
<td>国</td>
<td>宮崎大学</td>
<td>188</td>
<td>388,600</td>
</tr>
<tr>
<td>48</td>
<td>国</td>
<td>弘前大学</td>
<td>183</td>
<td>351,600</td>
</tr>
<tr>
<td>49</td>
<td>国</td>
<td>島根大学</td>
<td>176</td>
<td>321,900</td>
</tr>
<tr>
<td>50</td>
<td>国</td>
<td>埼玉大学</td>
<td>175</td>
<td>351,700</td>
</tr>
</tbody>
</table>

合計 | 45,531 | 150,895,540 |
図1-4 特別研究員奨励費を除く研究種目全体 採択研究課題数上位50位（2005年度）
4. 調査研究の具体的な分析方針

特別研究員奨励費を除く個別課題研究費では、科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度を、科学研究費補助金申請および採択に用いられた新「細目表」にしたがって整理した。基本的には前回の2004年度の分析方針と同じである。経時変化がわかるように、2004年度の機関別採択研究課題数を併記することとした。ただし、2004年度の採択研究課題の採択までの間に、大学の合併や名称変更などが行われている。2004年度の採択研究課題数を表記する場合には、この点を考慮して、2005年4月1日現在における大学等の合併や改廃を考慮した合算を行うなどの補正をしている。また、独立行政法人の改編に伴い申請時の機関名の記載が変更になったものもあり、比較の難しいものもある。補正内容の詳細については個々に記さないので、注意されたい。

これらの研究種目については次の方法で分析する。

（1） 各「系」について、2005年度の科学研究費補助金の採択研究課題数の総数による機関別順位を上位50位まで整理する。

（2） 各「分野」について、採択研究課題数による機関別順位を上位50位まで整理する。

（3）「分科」については、文学、法学、経済学、薬学等学部に相当するものもある。基本的に、各「分科」について採択研究課題数による機関別順位を上位30位まで整理する。ただし、採択研究課題数が1件以下の場合は省略し、2件までの順位とする。

（4） 各「細目」については、調査件数が少ないことから、2005年度の単年度の分析の対象にはしなかった。この点については、現在の「細目表」が用いられる5年間の採択研究課題数の動向をいずれ見ることに改めて分析対象とした。しかし、新「細目表」に改訂されて3年が経過し、統計的に有意な調査件数となったため、テクニカルレポートをweb公開した後に、3年間合計の「細目」別の解析を改めて検討し別の機会に発表することとしたい。

一方、特別研究員奨励費については、「KAKEN」に公開されているデータベース上では、基本的に2003年度に新規採用された特別研究員からの申請による研究課題では旧「細目表」が主に用いられ、2003年度に追加採用および2004年度以降に新規採用された特別研究員からの申請による研究課題では新「細目表」が用いられている。特別研究員が2年もしくは3年任期であることから、特別研究員奨励費の採択研究課題では、旧「細目表」により分類される研究課題と新「細目表」により分類される研究課題が混在している。

したがって、特別研究員奨励費については次の方法で分析する。

（1） 特別研究員奨励費全体の採択研究課題数の総数（新・旧「細目表」すべてを含む）による機関別順位を上位50位まで整理する。

（2） 研究コードが混在しているため、旧「細目表」の「部」と新「細目表」の「分野」を、文系（部：文学、法学、経済学／分野：人文学、社会科学）、理工系（部：理学、工学、農学／分野：数物系科学、化学、工学、生物学、農学）、医系（部：医学／分野：医歯薬学）、融合系（部：複合領域／分野：総合領域、複合新領域）の4つに統合する。この4つの「研究領域」について、採択研究課題数による機関別順位を上位50位まで整理する。

（3） 各「部」および各「分野」についても、採択研究課題数による機関別順位を上位30位まで整理する。ただし、採択研究課題数が1件以下の場合は省略し、2件までの順位とする。なお、これらについては、「細目表」の変更をまっていているため個別の機関別順位には本質的な意味がないことに注意が必要である。
II. 個別課題研究費編：理工系

1 概要

2005年度の採択結果に前年度の機関別採択研究課題数を併記し、経時変化による採択動向をみることとする。「理工系」全体での機関別採択研究課題数を表2-1に、その棒グラフを図2-1に示す。表から明らかのように、2004年度と比較すると、理工系全体として採択研究課題数が1.8%増えていることがわかり、人文社会系が6.4%増加したことを考えると理工系の伸びは比較的小さいといえる。表およびグラフから明らかのように、旧帝国大学と東京工業大学が上位8位を占め、少し落差があって、広島大学、筑波大学、神戸大学と続いている。上位を占める大学については、2004年度と比較して、多少の変動はあるもののほぼ同じである。私立の早稲田大学、慶應義塾大学、東京理科大学、日本大学の順位、公立の首都大学東京、大阪府立大学等の順位もほとんど変化していない。

この理工系を「分野」別にわけてみると、図2-2に示すように、採択研究課題数の割合は分野：数物系科学で30.4%、分野：化学で14.7%、分野：工学で54.8%であり、「分野」別の割合はいくぶん分野：工学が減少傾向にあるものの、ほとんど変化していない。
表2-1 理工系 採択研究課題数上位50位（2005年度）

<table>
<thead>
<tr>
<th>順位</th>
<th>種別</th>
<th>機関名</th>
<th>2005年度</th>
<th>2004年度</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>件数</td>
<td>金額（千円）</td>
<td>件数</td>
</tr>
<tr>
<td>1</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>781</td>
<td>3,239,900</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>国</td>
<td>京都大学</td>
<td>670</td>
<td>2,287,300</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>国</td>
<td>東北大学</td>
<td>623</td>
<td>2,704,200</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>国</td>
<td>大阪大学</td>
<td>490</td>
<td>1,905,700</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>451</td>
<td>1,754,900</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>国</td>
<td>九州大学</td>
<td>423</td>
<td>1,366,400</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>400</td>
<td>1,540,300</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>336</td>
<td>1,207,500</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>広島大学</td>
<td>204</td>
<td>585,100</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>国</td>
<td>筑波大学</td>
<td>158</td>
<td>473,100</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>国</td>
<td>神戸大学</td>
<td>125</td>
<td>390,800</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>国</td>
<td>名古屋工業大学</td>
<td>97</td>
<td>211,200</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>国</td>
<td>新潟大学</td>
<td>97</td>
<td>198,100</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>国</td>
<td>金沢大学</td>
<td>97</td>
<td>325,400</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>国</td>
<td>早稲田大学</td>
<td>96</td>
<td>301,600</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>国</td>
<td>大阪府立大学</td>
<td>95</td>
<td>275,500</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>国</td>
<td>熊本大学</td>
<td>94</td>
<td>323,400</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>国</td>
<td>日本原子力研究所</td>
<td>93</td>
<td>257,500</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>国</td>
<td>静岡大学</td>
<td>92</td>
<td>262,100</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>国</td>
<td>東京理科大学</td>
<td>89</td>
<td>323,600</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>国</td>
<td>東京理科大学</td>
<td>88</td>
<td>197,400</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>国</td>
<td>大阪市立大学</td>
<td>85</td>
<td>243,700</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>国</td>
<td>山口大学</td>
<td>84</td>
<td>200,900</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>国</td>
<td>理化学研究所</td>
<td>83</td>
<td>255,800</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>国</td>
<td>九州大学</td>
<td>83</td>
<td>182,700</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>国</td>
<td>九州工業大学</td>
<td>81</td>
<td>160,400</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>国</td>
<td>埼玉大学</td>
<td>80</td>
<td>174,400</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>国</td>
<td>高エネルギー加速器研究機構</td>
<td>77</td>
<td>236,300</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>国</td>
<td>長岡技術科学大学</td>
<td>75</td>
<td>323,300</td>
</tr>
<tr>
<td>30</td>
<td>国</td>
<td>九州大学</td>
<td>75</td>
<td>282,100</td>
</tr>
<tr>
<td>31</td>
<td>国</td>
<td>名古屋工業大学</td>
<td>75</td>
<td>323,300</td>
</tr>
<tr>
<td>32</td>
<td>国</td>
<td>日本大学</td>
<td>75</td>
<td>117,100</td>
</tr>
<tr>
<td>33</td>
<td>国</td>
<td>福岡大学</td>
<td>73</td>
<td>153,900</td>
</tr>
<tr>
<td>34</td>
<td>国</td>
<td>宇宙航空研究開発機構</td>
<td>72</td>
<td>219,400</td>
</tr>
<tr>
<td>35</td>
<td>国</td>
<td>東京農工大学</td>
<td>68</td>
<td>178,700</td>
</tr>
<tr>
<td>36</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>68</td>
<td>141,600</td>
</tr>
<tr>
<td>37</td>
<td>国</td>
<td>東海大学</td>
<td>67</td>
<td>88,300</td>
</tr>
<tr>
<td>38</td>
<td>国</td>
<td>兵庫県立大学</td>
<td>66</td>
<td>140,500</td>
</tr>
<tr>
<td>39</td>
<td>国</td>
<td>山形大学</td>
<td>64</td>
<td>103,800</td>
</tr>
<tr>
<td>40</td>
<td>国</td>
<td>豊橋技術科学大学</td>
<td>61</td>
<td>323,200</td>
</tr>
<tr>
<td>41</td>
<td>国</td>
<td>茨城大学</td>
<td>60</td>
<td>101,900</td>
</tr>
<tr>
<td>42</td>
<td>国</td>
<td>岐阜大学</td>
<td>56</td>
<td>128,100</td>
</tr>
<tr>
<td>43</td>
<td>国</td>
<td>岐阜大学</td>
<td>55</td>
<td>133,800</td>
</tr>
<tr>
<td>44</td>
<td>国</td>
<td>沖縄研究開発機構</td>
<td>54</td>
<td>140,900</td>
</tr>
<tr>
<td>45</td>
<td>国</td>
<td>理科学研究所</td>
<td>53</td>
<td>122,600</td>
</tr>
<tr>
<td>46</td>
<td>国</td>
<td>東海大学</td>
<td>53</td>
<td>117,300</td>
</tr>
</tbody>
</table>

合計 | 10,757 | 31,657,632 | 10,564 |
図2-1 理工系 採択研究課題数上位50位（2005年度）
図2-2 2005年度の理工系「分野」別採択研究課題数

「理工系」の各「分野」の採択研究課題数を機関別に整理したものの上位50位を表2-2～2-3に、棒グラフを図2-4～2-5にそれぞれ示す。分野：数物系科学、化学、工学ともに2004年度までの傾向とほぼ同じであるが、個々の分野の特性を表れている。

分野：数物系科学では、2004年度と比較して、上位の順位はほとんど変化がない。上位10位では、東京大学が採択研究課題数を減らしたのに対して、名古屋大学、北海道大学、広島大学、筑波大学が採択研究課題数を1割以上伸ばしている。また、2004年度に引き続き、高エネルギー加速器研究機構、海洋開発研究機構、日本原子力研究所などの研究所が採択研究課題数を伸ばしている。

分野：化学でも、2004年度と比較して、上位の順位に大きな変動はない。上位10位では、1位の京都大学が採択研究課題数を大きく伸ばしたのに対して、大阪大学、東北大学が採択研究課題数を減らしている。また、産業技術総合研究所、大阪市立大学などが採択研究課題数を大きく伸ばしている。

分野：工学でも、2004年度と比較して、上位の順位に大きな変動はない。5位の東京工業大学の採択研究課題数の減少がやや大きく、名古屋大学、神戸大学、東京農工大学、日本原子力研究所、物質・材料研究機構などが採択研究課題数を伸ばしている。
## 表2-2 理工系「分野」別採択研究課題数上位 50 位（2005年度）（1）

<table>
<thead>
<tr>
<th>順位</th>
<th>種別</th>
<th>機関名</th>
<th>2005年度件数</th>
<th>金額</th>
<th>2004年度件数</th>
<th>金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>320</td>
<td>1,117,500</td>
<td>340</td>
<td>1,084,600</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>国</td>
<td>京都大学</td>
<td>240</td>
<td>705,100</td>
<td>233</td>
<td>687,900</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>国</td>
<td>東北大学</td>
<td>182</td>
<td>670,800</td>
<td>176</td>
<td>583,400</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>国</td>
<td>大阪大学</td>
<td>142</td>
<td>457,700</td>
<td>135</td>
<td>441,600</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>136</td>
<td>457,700</td>
<td>119</td>
<td>427,800</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>115</td>
<td>406,600</td>
<td>98</td>
<td>376,800</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>国</td>
<td>九州大学</td>
<td>111</td>
<td>276,700</td>
<td>117</td>
<td>234,200</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>90</td>
<td>284,200</td>
<td>89</td>
<td>224,400</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>広島大学</td>
<td>90</td>
<td>215,600</td>
<td>80</td>
<td>188,900</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>国</td>
<td>琉球大学</td>
<td>75</td>
<td>188,500</td>
<td>64</td>
<td>149,600</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>国</td>
<td>国立天文台</td>
<td>63</td>
<td>135,032</td>
<td>60</td>
<td>111,500</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>他</td>
<td>生物研究開発機構</td>
<td>62</td>
<td>154,200</td>
<td>55</td>
<td>143,300</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>国</td>
<td>岡山大学</td>
<td>49</td>
<td>143,500</td>
<td>48</td>
<td>133,400</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>私</td>
<td>早稲田大学</td>
<td>48</td>
<td>98,000</td>
<td>37</td>
<td>89,900</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>他</td>
<td>海洋研究開発機構</td>
<td>45</td>
<td>122,500</td>
<td>34</td>
<td>113,900</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>国</td>
<td>金沢大学</td>
<td>44</td>
<td>80,900</td>
<td>34</td>
<td>76,900</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>国</td>
<td>関西大学</td>
<td>43</td>
<td>137,200</td>
<td>36</td>
<td>133,200</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>国</td>
<td>新潟大学</td>
<td>43</td>
<td>83,300</td>
<td>32</td>
<td>83,300</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>公</td>
<td>高知大学</td>
<td>42</td>
<td>91,400</td>
<td>45</td>
<td>82,100</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>国</td>
<td>千葉大学</td>
<td>38</td>
<td>75,200</td>
<td>44</td>
<td>65,000</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>国</td>
<td>大阪市立大学</td>
<td>35</td>
<td>72,800</td>
<td>38</td>
<td>64,200</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>私</td>
<td>岐阜大学</td>
<td>35</td>
<td>63,200</td>
<td>33</td>
<td>57,800</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>他</td>
<td>日本原子力研究所</td>
<td>32</td>
<td>93,200</td>
<td>21</td>
<td>91,300</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>国</td>
<td>愛知交通大学</td>
<td>29</td>
<td>82,300</td>
<td>21</td>
<td>78,300</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>29</td>
<td>45,300</td>
<td>30</td>
<td>44,500</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>他</td>
<td>生物学研究所</td>
<td>28</td>
<td>70,100</td>
<td>27</td>
<td>70,100</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>国</td>
<td>熊本大学</td>
<td>27</td>
<td>112,800</td>
<td>17</td>
<td>104,800</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>国</td>
<td>茨城大学</td>
<td>27</td>
<td>45,300</td>
<td>28</td>
<td>45,300</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>私</td>
<td>早稲田大学</td>
<td>27</td>
<td>33,100</td>
<td>25</td>
<td>33,100</td>
</tr>
<tr>
<td>30</td>
<td>国</td>
<td>静岡大学</td>
<td>26</td>
<td>49,600</td>
<td>23</td>
<td>49,600</td>
</tr>
<tr>
<td>31</td>
<td>国</td>
<td>神戸大学</td>
<td>25</td>
<td>48,300</td>
<td>28</td>
<td>48,300</td>
</tr>
<tr>
<td>32</td>
<td>他</td>
<td>東京都立研究開発機構</td>
<td>24</td>
<td>82,700</td>
<td>19</td>
<td>79,500</td>
</tr>
<tr>
<td>33</td>
<td>国</td>
<td>龍谷大学</td>
<td>22</td>
<td>42,200</td>
<td>25</td>
<td>39,000</td>
</tr>
<tr>
<td>34</td>
<td>公</td>
<td>大阪府立大学</td>
<td>21</td>
<td>36,400</td>
<td>19</td>
<td>32,000</td>
</tr>
<tr>
<td>35</td>
<td>私</td>
<td>上智大学</td>
<td>21</td>
<td>28,300</td>
<td>19</td>
<td>25,700</td>
</tr>
<tr>
<td>36</td>
<td>私</td>
<td>東京理科大学</td>
<td>21</td>
<td>22,800</td>
<td>21</td>
<td>22,800</td>
</tr>
<tr>
<td>37</td>
<td>私</td>
<td>日本大学</td>
<td>21</td>
<td>22,400</td>
<td>20</td>
<td>20,000</td>
</tr>
<tr>
<td>38</td>
<td>国</td>
<td>高橋大学</td>
<td>20</td>
<td>29,900</td>
<td>20</td>
<td>22,000</td>
</tr>
<tr>
<td>39</td>
<td>他</td>
<td>九州工業大学</td>
<td>20</td>
<td>26,300</td>
<td>20</td>
<td>26,300</td>
</tr>
<tr>
<td>40</td>
<td>他</td>
<td>東北技術総合研究所</td>
<td>19</td>
<td>71,300</td>
<td>13</td>
<td>64,900</td>
</tr>
<tr>
<td>41</td>
<td>国</td>
<td>宮城県県立大学</td>
<td>19</td>
<td>37,600</td>
<td>15</td>
<td>37,600</td>
</tr>
<tr>
<td>42</td>
<td>国</td>
<td>山形大学</td>
<td>18</td>
<td>20,100</td>
<td>17</td>
<td>18,700</td>
</tr>
<tr>
<td>43</td>
<td>国</td>
<td>鹿児島大学</td>
<td>17</td>
<td>29,200</td>
<td>19</td>
<td>28,400</td>
</tr>
<tr>
<td>44</td>
<td>国</td>
<td>奈良女子大学</td>
<td>17</td>
<td>19,600</td>
<td>18</td>
<td>19,600</td>
</tr>
<tr>
<td>45</td>
<td>国</td>
<td>福岡大学</td>
<td>16</td>
<td>36,800</td>
<td>17</td>
<td>32,000</td>
</tr>
<tr>
<td>46</td>
<td>国</td>
<td>横浜国立大学</td>
<td>15</td>
<td>47,800</td>
<td>20</td>
<td>41,000</td>
</tr>
<tr>
<td>47</td>
<td>国</td>
<td>埼玉大学</td>
<td>15</td>
<td>22,800</td>
<td>19</td>
<td>20,800</td>
</tr>
<tr>
<td>48</td>
<td>他</td>
<td>順天堂大学</td>
<td>15</td>
<td>21,400</td>
<td>17</td>
<td>17,400</td>
</tr>
<tr>
<td>49</td>
<td>国</td>
<td>九州大学</td>
<td>15</td>
<td>19,400</td>
<td>14</td>
<td>19,400</td>
</tr>
<tr>
<td>50</td>
<td>国</td>
<td>茨城大学</td>
<td>14</td>
<td>20,400</td>
<td>15</td>
<td>15,000</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 数物系科学

<table>
<thead>
<tr>
<th>件数</th>
<th>金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>327</td>
<td>8210.532</td>
</tr>
<tr>
<td>3183</td>
<td>5259.000</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 化学

<table>
<thead>
<tr>
<th>件数</th>
<th>金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1582</td>
<td>5259.000</td>
</tr>
<tr>
<td>1545</td>
<td>1545.000</td>
</tr>
<tr>
<td>番位</td>
<td>種別</td>
</tr>
<tr>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>1</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>私</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>公</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>公</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>他</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>私</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>他</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>30</td>
<td>他</td>
</tr>
<tr>
<td>31</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>32</td>
<td>私</td>
</tr>
<tr>
<td>33</td>
<td>他</td>
</tr>
<tr>
<td>34</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>35</td>
<td>私</td>
</tr>
<tr>
<td>36</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>37</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>38</td>
<td>他</td>
</tr>
<tr>
<td>39</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>40</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>41</td>
<td>私</td>
</tr>
<tr>
<td>42</td>
<td>私</td>
</tr>
<tr>
<td>43</td>
<td>私</td>
</tr>
<tr>
<td>44</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>45</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>46</td>
<td>公</td>
</tr>
<tr>
<td>47</td>
<td>他</td>
</tr>
<tr>
<td>48</td>
<td>公</td>
</tr>
<tr>
<td>49</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>50</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>51</td>
<td>国</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
図2－3 数物系科学 採択研究課題数上位50位（2005年度）

採択研究課題数

東京大学 国
京都大学 国
東北大学 国
大阪大学 国
名古屋大学 国
北海道大学 国
九州大学 国
東京工業大学 国
広島大学 国
筑波大学 国
神戸大学 国

高エネルギー加速器研究機構 他
岡山大学 国
早稲田大学 私
海洋研究開発機構 他
金沢大学 国
国立天文台 他
新潟大学 国
首都大学東京 公
千葉大学 国
大阪市立大学 公
慶應義塾大学 私
日本原子力研究所 他
電気通信大学 国
愛媛大学 国
理化学研究所 他
熊本大学 国
茨城大学 国
東海大学 私
静岡大学 国
山口大学 国

宇宙航空研究開発機構 他
島根大学 国
大阪府立大学 公
上智大学 私
東京理科大学 私
日本大学 私
高知大学 国
お茶の水女子大学 国
産業技術総合研究所 他
兵庫県立大学 公
山形大学 国
鹿児島大学 国
奈良女子大学 国
信州大学 国
横浜国立大学 国
埼玉大学 国
佐賀大学 国
中央大学 私
岐阜大学 国
琉球大学 国
図2-4 化学 採択研究課題数上位50位（2005年度）
図2-5 工学 採択研究課題数上位50位（2005年度）
2 分野別

2-1 数物系科学

分野：数物系科学の中の数学、天文学、物理学、地球惑星科学、プラズマ科学の「分科」ごとの採択研究課題数を図2-6の円グラフに示す。図2-6から明らかなように、数学、物理学、地球惑星科学の「分科」に比べて、天文学、プラズマ科学の採択研究課題数は、数学、物理学の約10分の1、地球惑星科学の約5分の1と小さく、他の「分科」の「細目」に相当する採択研究課題数の規模となっている。このため、単年度のみの採択研究課題数を用いた大学間の研究活性度の比較を行う場合は、統計的な意味が他の分科と異なる点に多少注意する必要がある。

2004年度と比較すると、分野：数物系科学全体の採択研究課題数は約3%増えているが、「分科」により採択研究課題数の増分には差があることがわかる。採択研究課題数が少ない分科：プラズマ科学では採択研究課題数はほとんど変化していない。

図2-6 2005年度の数物系科学「分科」別採択研究課題数

以下、数学、天文学、物理学、地球惑星科学、プラズマ科学の各「分科」について、上位30位までを表にまとめ、表2-4〜2-6に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図2-7〜2-9に示す。分科：天文学、プラズマ科学は採択研究課題数が少ないので、棒グラフでは省略することとする。

以下、数学、天文学、物理学、地球惑星科学、プラズマ科学の各「分科」について、上位30位までを表にまとめ、表2-4〜2-6に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図2-7〜2-9に示す。分科：天文学、プラズマ科学は採択研究課題数が少ないので、棒グラフでは省略することとする。
表2-4～2-6および図2-7～2-9から明らかのように、どの「分科」においても2004年度と比較して上位の機関にはほぼ順位の変動はない。

分科：数学では、2位の東京大学が大幅に採択研究課題数を増やしている。分科：物理学、地球惑星科学では、1位の東京大学が採択研究課題数を減らしているものの依然として飛び抜けて多く、2004年度と同様の状況にある。

分科：天文学、プラズマ科学は分科全体の採択研究課題数が少ないために順位を議論することは難しい。
<table>
<thead>
<tr>
<th>順位</th>
<th>種別</th>
<th>機関名</th>
<th>件数</th>
<th>金額</th>
<th>順位</th>
<th>種別</th>
<th>機関名</th>
<th>件数</th>
<th>金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>国</td>
<td>京都大学</td>
<td>95</td>
<td>201,300</td>
<td>1</td>
<td>他</td>
<td>国立天文台</td>
<td>33</td>
<td>111,600</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>68</td>
<td>177,000</td>
<td>2</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>20</td>
<td>97,200</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>国</td>
<td>九州大学</td>
<td>57</td>
<td>123,300</td>
<td>3</td>
<td>国</td>
<td>京都大学</td>
<td>13</td>
<td>29,000</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>国</td>
<td>大阪大学</td>
<td>50</td>
<td>111,700</td>
<td>4</td>
<td>他</td>
<td>宇宙航空研究開発機構</td>
<td>11</td>
<td>31,000</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>48</td>
<td>104,200</td>
<td>5</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>7</td>
<td>36,800</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>国</td>
<td>東北大学</td>
<td>43</td>
<td>93,200</td>
<td>6</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>7</td>
<td>23,200</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>37</td>
<td>94,100</td>
<td>7</td>
<td>国</td>
<td>東北大学</td>
<td>4</td>
<td>32,700</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>30</td>
<td>52,800</td>
<td>8</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>3</td>
<td>4,033</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>筑波大学</td>
<td>33</td>
<td>57,300</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>筑波大学</td>
<td>3</td>
<td>15,900</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>30</td>
<td>52,800</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>3</td>
<td>7,300</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>国</td>
<td>神戸大学</td>
<td>24</td>
<td>56,000</td>
<td>11</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>3</td>
<td>3,200</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>国</td>
<td>金沢大学</td>
<td>23</td>
<td>34,500</td>
<td>12</td>
<td>私</td>
<td>立教大学</td>
<td>3</td>
<td>2,800</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>私</td>
<td>慶應義塾大学</td>
<td>22</td>
<td>31,000</td>
<td>13</td>
<td>国</td>
<td>広島大学</td>
<td>2</td>
<td>19,300</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>公</td>
<td>首都大学東京</td>
<td>20</td>
<td>38,800</td>
<td>14</td>
<td>私</td>
<td>早稲田大学</td>
<td>2</td>
<td>9,500</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>私</td>
<td>早稲田大学</td>
<td>20</td>
<td>30,100</td>
<td>15</td>
<td>私</td>
<td>筑波大学</td>
<td>2</td>
<td>3,000</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>国</td>
<td>千葉大学</td>
<td>18</td>
<td>19,900</td>
<td>16</td>
<td>私</td>
<td>上智大学</td>
<td>2</td>
<td>2,900</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>国</td>
<td>岡山大学</td>
<td>17</td>
<td>23,200</td>
<td>17</td>
<td>国</td>
<td>山形大学</td>
<td>2</td>
<td>1,900</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>国</td>
<td>熊本大学</td>
<td>16</td>
<td>22,000</td>
<td>18</td>
<td>国</td>
<td>山口大学</td>
<td>2</td>
<td>1,600</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>私</td>
<td>東京理科大学</td>
<td>16</td>
<td>16,000</td>
<td>19</td>
<td>国</td>
<td>新潟大学</td>
<td>2</td>
<td>1,400</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>公</td>
<td>大阪市立大学</td>
<td>14</td>
<td>20,100</td>
<td>20</td>
<td>国</td>
<td>千葉大学</td>
<td>2</td>
<td>1,200</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>国</td>
<td>愛媛大学</td>
<td>13</td>
<td>17,500</td>
<td>21</td>
<td>公</td>
<td>岩手大学</td>
<td>2</td>
<td>900</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>国</td>
<td>新潟大学</td>
<td>12</td>
<td>17,300</td>
<td>22</td>
<td>私</td>
<td>近畿大学</td>
<td>2</td>
<td>600</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>国</td>
<td>山口大学</td>
<td>12</td>
<td>16,700</td>
<td>23</td>
<td>私</td>
<td>日本大学</td>
<td>2</td>
<td>500</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>私</td>
<td>日本大学</td>
<td>12</td>
<td>16,000</td>
<td>24</td>
<td>私</td>
<td>岩手大学</td>
<td>2</td>
<td>400</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>国</td>
<td>京都大学</td>
<td>11</td>
<td>15,600</td>
<td>25</td>
<td>国</td>
<td>鹿児島大学</td>
<td>2</td>
<td>300</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>11</td>
<td>12,800</td>
<td>26</td>
<td>私</td>
<td>東京大学</td>
<td>2</td>
<td>100</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>私</td>
<td>佐賀大学</td>
<td>10</td>
<td>13,400</td>
<td>27</td>
<td>私</td>
<td>近畿大学</td>
<td>2</td>
<td>900</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>10</td>
<td>12,000</td>
<td>28</td>
<td>国</td>
<td>宮城大学</td>
<td>2</td>
<td>800</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>10</td>
<td>11,300</td>
<td>29</td>
<td>私</td>
<td>山形大学</td>
<td>2</td>
<td>700</td>
</tr>
<tr>
<td>30</td>
<td>私</td>
<td>北海道大学</td>
<td>10</td>
<td>10,000</td>
<td>30</td>
<td>国</td>
<td>奈良女子大学</td>
<td>2</td>
<td>600</td>
</tr>
<tr>
<td>31</td>
<td>私</td>
<td>近畿大学</td>
<td>10</td>
<td>8,900</td>
<td>31</td>
<td>公</td>
<td>大阪府立大学</td>
<td>2</td>
<td>500</td>
</tr>
</tbody>
</table>

| 合計   | 1,196 | 1,949,100 | 1,189 | 合計   | 154   | 488,332 |

金額単位/千円
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>141</td>
<td>527,400</td>
<td>148</td>
<td>303,400</td>
<td>1</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>141</td>
<td>303,400</td>
<td>148</td>
<td>200</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>国</td>
<td>東北大学</td>
<td>85</td>
<td>352,000</td>
<td>89</td>
<td>181,600</td>
<td>2</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>70</td>
<td>244,500</td>
<td>62</td>
<td>447</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>国</td>
<td>京都大学</td>
<td>82</td>
<td>273,500</td>
<td>76</td>
<td>170,200</td>
<td>3</td>
<td>国</td>
<td>京都大学</td>
<td>62</td>
<td>154,200</td>
<td>55</td>
<td>341</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>国</td>
<td>大阪大学</td>
<td>70</td>
<td>244,500</td>
<td>62</td>
<td>122,900</td>
<td>4</td>
<td>国</td>
<td>東北大学</td>
<td>38</td>
<td>152,200</td>
<td>38</td>
<td>351</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>87</td>
<td>303,400</td>
<td>109</td>
<td>138,200</td>
<td>5</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>49</td>
<td>161,600</td>
<td>49</td>
<td>341</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>国</td>
<td>九州大学</td>
<td>37</td>
<td>78,600</td>
<td>32</td>
<td>53,100</td>
<td>6</td>
<td>国</td>
<td>九州大学</td>
<td>29</td>
<td>82,300</td>
<td>31</td>
<td>291</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>36</td>
<td>112,200</td>
<td>38</td>
<td>99,100</td>
<td>7</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>21</td>
<td>99,100</td>
<td>21</td>
<td>211</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>141</td>
<td>527,400</td>
<td>148</td>
<td>303,400</td>
<td>8</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>141</td>
<td>303,400</td>
<td>148</td>
<td>200</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>85</td>
<td>352,000</td>
<td>89</td>
<td>181,600</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>85</td>
<td>352,000</td>
<td>89</td>
<td>200</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>国</td>
<td>京都大学</td>
<td>82</td>
<td>273,500</td>
<td>76</td>
<td>170,200</td>
<td>10</td>
<td>国</td>
<td>京都大学</td>
<td>82</td>
<td>273,500</td>
<td>76</td>
<td>200</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>国</td>
<td>東北大学</td>
<td>70</td>
<td>244,500</td>
<td>62</td>
<td>122,900</td>
<td>11</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>49</td>
<td>161,600</td>
<td>49</td>
<td>341</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>87</td>
<td>303,400</td>
<td>109</td>
<td>138,200</td>
<td>12</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>49</td>
<td>161,600</td>
<td>49</td>
<td>341</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>37</td>
<td>78,600</td>
<td>32</td>
<td>53,100</td>
<td>13</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>29</td>
<td>82,300</td>
<td>31</td>
<td>291</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>国</td>
<td>広島大学</td>
<td>21</td>
<td>63,700</td>
<td>21</td>
<td>34,700</td>
<td>14</td>
<td>国</td>
<td>広島大学</td>
<td>12</td>
<td>24,900</td>
<td>12</td>
<td>221</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>141</td>
<td>527,400</td>
<td>148</td>
<td>303,400</td>
<td>15</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>141</td>
<td>527,400</td>
<td>148</td>
<td>200</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>85</td>
<td>352,000</td>
<td>89</td>
<td>181,600</td>
<td>16</td>
<td>国</td>
<td>九州大学</td>
<td>29</td>
<td>82,300</td>
<td>31</td>
<td>291</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>37</td>
<td>78,600</td>
<td>32</td>
<td>53,100</td>
<td>17</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>29</td>
<td>82,300</td>
<td>31</td>
<td>291</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>141</td>
<td>527,400</td>
<td>148</td>
<td>303,400</td>
<td>18</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>141</td>
<td>527,400</td>
<td>148</td>
<td>200</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>85</td>
<td>352,000</td>
<td>89</td>
<td>181,600</td>
<td>19</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>49</td>
<td>161,600</td>
<td>49</td>
<td>341</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>87</td>
<td>303,400</td>
<td>109</td>
<td>138,200</td>
<td>20</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>49</td>
<td>161,600</td>
<td>49</td>
<td>341</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>37</td>
<td>78,600</td>
<td>32</td>
<td>53,100</td>
<td>21</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>29</td>
<td>82,300</td>
<td>31</td>
<td>291</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>国</td>
<td>広島大学</td>
<td>21</td>
<td>63,700</td>
<td>21</td>
<td>34,700</td>
<td>22</td>
<td>国</td>
<td>広島大学</td>
<td>12</td>
<td>24,900</td>
<td>12</td>
<td>221</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>141</td>
<td>527,400</td>
<td>148</td>
<td>303,400</td>
<td>23</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>141</td>
<td>527,400</td>
<td>148</td>
<td>200</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>85</td>
<td>352,000</td>
<td>89</td>
<td>181,600</td>
<td>24</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>85</td>
<td>352,000</td>
<td>89</td>
<td>200</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>87</td>
<td>303,400</td>
<td>109</td>
<td>138,200</td>
<td>25</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>49</td>
<td>161,600</td>
<td>49</td>
<td>341</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>37</td>
<td>78,600</td>
<td>32</td>
<td>53,100</td>
<td>26</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>29</td>
<td>82,300</td>
<td>31</td>
<td>291</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>141</td>
<td>527,400</td>
<td>148</td>
<td>303,400</td>
<td>27</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>49</td>
<td>161,600</td>
<td>49</td>
<td>341</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>87</td>
<td>303,400</td>
<td>109</td>
<td>138,200</td>
<td>28</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>49</td>
<td>161,600</td>
<td>49</td>
<td>341</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>37</td>
<td>78,600</td>
<td>32</td>
<td>53,100</td>
<td>29</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>29</td>
<td>82,300</td>
<td>31</td>
<td>291</td>
</tr>
<tr>
<td>30</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>141</td>
<td>527,400</td>
<td>148</td>
<td>303,400</td>
<td>30</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>141</td>
<td>527,400</td>
<td>148</td>
<td>200</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>順位</th>
<th>件数</th>
<th>金額/千円</th>
<th>合計件数</th>
<th>金額/千円</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2004</td>
<td>1,138</td>
<td>3,219,000</td>
<td>合計</td>
<td>1,084</td>
</tr>
<tr>
<td>2005</td>
<td>1,084</td>
<td>2,226,800</td>
<td>合計</td>
<td>659</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(金額単位/千円)
表２－６ 数物系科学「分科」別採択研究課題数上位30位（2005年度）（3）

<table>
<thead>
<tr>
<th>件数</th>
<th>金額</th>
<th>金額単位/千円</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>30</td>
<td>105</td>
<td>327,300</td>
</tr>
</tbody>
</table>

プラズマ科学

<table>
<thead>
<tr>
<th>順位</th>
<th>種別</th>
<th>機関名</th>
<th>2005年度件数</th>
<th>金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>国</td>
<td>東北大学</td>
<td>12</td>
<td>40,700</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>他</td>
<td>核融合科学研究所</td>
<td>10</td>
<td>15,900</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>8</td>
<td>18,300</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>国</td>
<td>大阪大学</td>
<td>7</td>
<td>38,100</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>国</td>
<td>京都大学</td>
<td>7</td>
<td>31,100</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>他</td>
<td>日本原子力研究所</td>
<td>6</td>
<td>36,600</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>4</td>
<td>12,500</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>国</td>
<td>九州大学</td>
<td>4</td>
<td>7,400</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>国</td>
<td>愛媛大学</td>
<td>4</td>
<td>3,700</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>国</td>
<td>広島大学</td>
<td>3</td>
<td>8,500</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>3</td>
<td>6,700</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>国</td>
<td>宇都宮大学</td>
<td>3</td>
<td>6,500</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>私</td>
<td>東海大学</td>
<td>3</td>
<td>3,700</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>国</td>
<td>山口大学</td>
<td>2</td>
<td>19,900</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>国</td>
<td>静岡大学</td>
<td>2</td>
<td>8,100</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>国</td>
<td>長崎大学</td>
<td>2</td>
<td>5,600</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>国</td>
<td>佐賀大学</td>
<td>2</td>
<td>2,200</td>
</tr>
</tbody>
</table>

合計：106件 327,300千円
図2-7 数学 採択研究課題数上位30位（2005年度）
図2-8 物理学 採択研究課題数上位30位（2005年度）
図2-9 地球惑星科学 採択研究課題数上位30位（2005年度）
２-2 化学
分野：化学の中の基礎化学、複合化学、材料化学の「分科」ごとの採択研究課題数を図2-10の円グラフに示す。分野：数物系科学と比べると、「分科」別の採択研究課題数に大きな偏りがない。
2004年度と比較すると、採択研究課題数が約 2%増えた分野：化学の中で、採択研究課題数の前年比伸び率がもっとも大きいのは分科：材料化学であり、約 5%伸びている。これに対して、分科：基礎化学では採択研究課題数の伸びが約 1%に留まっている。

図2-10 2005年度の化学「分科」別採択研究課題数

以下、基礎化学、複合化学、材料化学の各「分科」について、上位30位までを表にまとめ、表2-7〜2-8に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図2-11〜2-13に示す。
分野：化学でも、どの「分科」においても2004年度と比較して上位の順位に大きな変動はない。まず、分科：基礎化学では、分子科学研究所や理化学研究所等の理系研究所が上位に位置するのが特徴であり、2004年度と比較すると九州大学の採択研究課題数が伸びている。分科：複合化学では、京都大学、東京大学が採択研究課題数を伸ばし、大阪大学、東北大学が採択研究課題数を減らしている。分科：材料化学では、2位の京都大学が採択研究課題数を大幅に伸ばし1位の東京工業大学に迫っている。また、東京大学が9位に、東北大学が13位に、後退している。
<table>
<thead>
<tr>
<th>序位</th>
<th>種別</th>
<th>機関名</th>
<th>2005年度件数</th>
<th>2005年度金額</th>
<th>2004年度件数</th>
<th>2004年度金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>35</td>
<td>158,300</td>
<td>35</td>
<td>158,300</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>国</td>
<td>京都大学</td>
<td>65</td>
<td>298,900</td>
<td>55</td>
<td>298,900</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>国</td>
<td>東北大学</td>
<td>46</td>
<td>138,100</td>
<td>43</td>
<td>138,100</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>42</td>
<td>167,800</td>
<td>40</td>
<td>167,800</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>41</td>
<td>227,000</td>
<td>50</td>
<td>227,000</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>41</td>
<td>164,800</td>
<td>29</td>
<td>164,800</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>33</td>
<td>127,500</td>
<td>22</td>
<td>127,500</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>国</td>
<td>大阪大学</td>
<td>12</td>
<td>66,200</td>
<td>15</td>
<td>66,200</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋工業大学</td>
<td>10</td>
<td>54,000</td>
<td>13</td>
<td>54,000</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>国</td>
<td>岡山大学</td>
<td>12</td>
<td>26,400</td>
<td>10</td>
<td>26,400</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>国</td>
<td>九州大学</td>
<td>13</td>
<td>34,500</td>
<td>8</td>
<td>34,500</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>10</td>
<td>62,200</td>
<td>9</td>
<td>62,200</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>10</td>
<td>27,200</td>
<td>9</td>
<td>27,200</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>10</td>
<td>51,100</td>
<td>7</td>
<td>51,100</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>国</td>
<td>広島大学</td>
<td>8</td>
<td>40,300</td>
<td>13</td>
<td>40,300</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>30,800</td>
<td>11</td>
<td>30,800</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>国</td>
<td>大阪市立大学</td>
<td>7</td>
<td>25,100</td>
<td>11</td>
<td>25,100</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>国</td>
<td>神戸大学</td>
<td>7</td>
<td>18,300</td>
<td>7</td>
<td>18,300</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>国</td>
<td>堺市立大学</td>
<td>7</td>
<td>10,400</td>
<td>4</td>
<td>10,400</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>国</td>
<td>名古屋工業大学</td>
<td>6</td>
<td>15,900</td>
<td>7</td>
<td>15,900</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>国</td>
<td>愛媛大学</td>
<td>7</td>
<td>12,300</td>
<td>9</td>
<td>12,300</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>国</td>
<td>愛媛大学</td>
<td>7</td>
<td>16,900</td>
<td>8</td>
<td>16,900</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>6</td>
<td>11,800</td>
<td>9</td>
<td>11,800</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>国</td>
<td>京都工業大学</td>
<td>5</td>
<td>9,300</td>
<td>3</td>
<td>9,300</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>6</td>
<td>7,800</td>
<td>4</td>
<td>7,800</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>国</td>
<td>京都大学</td>
<td>5</td>
<td>10,400</td>
<td>25</td>
<td>10,400</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>国</td>
<td>京都大学</td>
<td>5</td>
<td>10,300</td>
<td>35</td>
<td>10,300</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>国</td>
<td>岡山大学</td>
<td>5</td>
<td>35,200</td>
<td>4</td>
<td>35,200</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>国</td>
<td>大阪府立大学</td>
<td>5</td>
<td>16,900</td>
<td>3</td>
<td>16,900</td>
</tr>
<tr>
<td>30</td>
<td>国</td>
<td>福井大学</td>
<td>5</td>
<td>10,400</td>
<td>3</td>
<td>10,400</td>
</tr>
<tr>
<td>31</td>
<td>国</td>
<td>福井大学</td>
<td>5</td>
<td>11,800</td>
<td>5</td>
<td>11,800</td>
</tr>
<tr>
<td>32</td>
<td>国</td>
<td>京都工業大学</td>
<td>5</td>
<td>11,800</td>
<td>4</td>
<td>11,800</td>
</tr>
<tr>
<td>33</td>
<td>国</td>
<td>神奈川大学</td>
<td>5</td>
<td>7,900</td>
<td>4</td>
<td>7,900</td>
</tr>
<tr>
<td>34</td>
<td>国</td>
<td>神奈川大学</td>
<td>5</td>
<td>7,400</td>
<td>6</td>
<td>7,400</td>
</tr>
</tbody>
</table>

| 金額単位/千円 |

| 合計    | 477 | 1,581,000 | 474 | 合計    | 784 | 2,546,500 | 765 |
表2－8 化学「分科」別採択研究課題数上位30位（2005年度）（2）

<table>
<thead>
<tr>
<th>順位</th>
<th>種別</th>
<th>機関名</th>
<th>件数</th>
<th>金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>31</td>
<td>105,600</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>国</td>
<td>京都大学</td>
<td>25</td>
<td>134,800</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>国</td>
<td>大阪大学</td>
<td>17</td>
<td>71,100</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>国</td>
<td>九州大学</td>
<td>11</td>
<td>66,000</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>国</td>
<td>京都工芸繊維大学</td>
<td>10</td>
<td>20,700</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>国</td>
<td>千葉大学</td>
<td>9</td>
<td>45,900</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>国</td>
<td>東京農工大学</td>
<td>9</td>
<td>42,400</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>8</td>
<td>34,600</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>7</td>
<td>32,600</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>信州大学</td>
<td>7</td>
<td>24,600</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>群馬大学</td>
<td>7</td>
<td>18,500</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>7</td>
<td>16,000</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>国</td>
<td>東北大学</td>
<td>6</td>
<td>43,800</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>6</td>
<td>35,100</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>国</td>
<td>横浜国立大学</td>
<td>6</td>
<td>23,100</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>国</td>
<td>長岡技術科学大学</td>
<td>6</td>
<td>18,000</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>国</td>
<td>山口大学</td>
<td>6</td>
<td>12,300</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>国</td>
<td>静岡大学</td>
<td>5</td>
<td>17,100</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>国</td>
<td>筑波大学</td>
<td>5</td>
<td>11,100</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>国</td>
<td>山形大学</td>
<td>5</td>
<td>9,400</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>国</td>
<td>九州工業大学</td>
<td>5</td>
<td>9,200</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>公</td>
<td>大阪府立大学</td>
<td>5</td>
<td>6,700</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>私</td>
<td>千歳科学技術大学</td>
<td>4</td>
<td>22,800</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>公</td>
<td>首都大学東京</td>
<td>4</td>
<td>14,800</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>私</td>
<td>東京理科大学</td>
<td>4</td>
<td>11,600</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>公</td>
<td>兵庫県立大学</td>
<td>4</td>
<td>10,200</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>他</td>
<td>産業技術総合研究所</td>
<td>4</td>
<td>9,500</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>国</td>
<td>福井大学</td>
<td>4</td>
<td>8,800</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>国</td>
<td>埼玉大学</td>
<td>4</td>
<td>8,000</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>国</td>
<td>名古屋工業大学</td>
<td>4</td>
<td>3,600</td>
</tr>
</tbody>
</table>

| 合計   | 321 | 1,131,500  | 306  |

金額単位：千円
図2－11 基礎化学 採択研究課題数上位30位（2005年度）
図2-12 複合化学 採択研究課題数上位

採択研究課題数

京都大学 国
九州大学 国
北海道大学 国
東京工業大学 国
大阪大学 国
東京大学 国
名古屋大学 国
東北大学 国
筑波大学 国
奈良先端科学技術大学院大学 国
大阪市立大学 公
産業技術総合研究所 他
岡山大学 国
理化学研究所 他
東京理科大学 私
千葉大学 国
名古屋工業大学 国
京都工芸繊維大学 国
山形大学 国
群馬大学 国
長崎大学 国
慶應義塾大学 私
首都大学東京 公
大阪府立大学 公
早稲田大学 私
横浜国立大学 国
広島大学 国
富山大学 国
福井大学 国
兵庫県立大学 公
東京農工大学 国
熊本大学 国
神奈川大学 私
神戸大学 国

図2－12 複合化学 採択研究課題数上位30位（2005年度）
図2-13 材料化学 採択研究課題数上位

採択研究課題数

0 1 02 03 04 0

東京工業大学 国
京都大学 国
大阪大学 国
九州大学 国
京都工芸繊維大学 国
千葉大学 国
東京農工大学 国
北海道大学 国
東京大学 国
信州大学 国
群馬大学 国
広島大学 国
東北大学 国
名古屋大学 国
横浜国立大学 国
長岡技術科学大学 国
山口大学 国
静岡大学 国
筑波大学 国
山形大学 国
九州工業大学 国
大阪府立大学 公
千歳科学技術大学 私
首都大学東京 公
東京理科大学 私
兵庫県立大学 公
産業技術総合研究所 他
福井大学 国
埼玉大学 国
名古屋工業大学 国

図2-13 材料化学 採択研究課題数上位 30 位（2005度）
2-3 工学

分野：工学の中の応用物理学・工学基礎、機械工学、電気電子工学、土木工学、建築学、材料工学、プロセス工学、総合工学の「分科」ごとの採択研究課題数を図2-14の円グラフに示す。ここでも、分野：数物系科学と比べると、「分科」別の採択研究課題数に大きな偏りがない。

2004年度と比較すると、採択研究課題数が約1%しか増えていない分野：工学の中で、採択研究課題数が増える割合が大きいのは、分科：応用物理学・工学基礎、総合工学であり、どちらも約5%伸びている。これに対して、分科：電気電子工学では約3%、分科：材料工学では約2%、分科：プロセス工学では約1%、採択研究課題数が減少している。

図2-14 2005年度の工学「分科」別採択研究課題数

以下、応用物理学・工学基礎、機械工学、電気電子工学、土木工学、建築学、材料工学、プロセス工学、総合工学の各「分科」について、上位30位までを表にまとめ、表2-9~2-12に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図2-15~2-22に示す。

分野：工学でも、分野：化学と同様に、どの「分科」においても2004年度と比較して上位の機関の順位に大きな変動はない。まず、分科：応用物理学・工学基礎では、大阪大学が2004年度の1位から3位に後退している。

分科：機械工学では、2004年度と比較して、東京大学が採択研究課題数を減らしたのに対して、名古屋大学が採択研究課題数を伸ばしている。
分科：電気電子工学では、1位の東北大学、2位の東京大学、4位の東京工業大学が採択研究課題数を減らしたのに対して、3位の大阪大学、8位の早稲田大学が採択研究課題数を増やしている。

分科：土木工学では、2位の東京大学が大幅に採択研究課題数を伸ばし、北海道大学が大幅に採択研究課題数を減らして10位に転落している。

分科：建築学では、2004年度と比べて、1位と2位の順位が逆転し、採択研究課題数を減らした上位の研究機関が多いことがわかる。

分科：材料工学では、上位に変化はあまりなく、物質・材料研究機構が採択研究課題数を伸ばしているのがわかる。

採択研究課題数が減り続けている分科：プロセス工学では、2004年度同数で1位をわけあった東京工業大学、京都大学がどちらも4位に後退していることが目立つ。

これに対して、採択研究課題数が増加し続けている分科：総合工学では、1位の東京大学が採択研究課題数を伸ばしている。このほか、日本原子力研究所、海上技術安全研究所などの研究所の採択研究課題数が増えている。

この一連の、科学研究費補助金の採択研究課題数による大学・大学院の研究活性度の調査研究にあたり、データの整理、編集、図表の作成をお願いした東京大学生産技術研究所の斎藤加余子氏に感謝の意を表する。
<table>
<thead>
<tr>
<th>位次</th>
<th>件数</th>
<th>金額</th>
<th>位次</th>
<th>件数</th>
<th>金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>45</td>
<td>223,600</td>
<td>1</td>
<td>77</td>
<td>336,300</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>43</td>
<td>174,600</td>
<td>2</td>
<td>67</td>
<td>260,500</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>36</td>
<td>152,900</td>
<td>3</td>
<td>58</td>
<td>277,400</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>25</td>
<td>65,200</td>
<td>4</td>
<td>48</td>
<td>183,500</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>22</td>
<td>113,200</td>
<td>5</td>
<td>48</td>
<td>167,300</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>17</td>
<td>57,200</td>
<td>6</td>
<td>46</td>
<td>145,000</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>16</td>
<td>69,000</td>
<td>7</td>
<td>43</td>
<td>122,400</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>12</td>
<td>60,600</td>
<td>8</td>
<td>24</td>
<td>83,600</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>10</td>
<td>76,800</td>
<td>9</td>
<td>23</td>
<td>72,900</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>8</td>
<td>47,000</td>
<td>10</td>
<td>19</td>
<td>78,700</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>8</td>
<td>38,700</td>
<td>11</td>
<td>18</td>
<td>76,800</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>11</td>
<td>28,100</td>
<td>12</td>
<td>18</td>
<td>58,600</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>4</td>
<td>68,500</td>
<td>13</td>
<td>18</td>
<td>39,700</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>8</td>
<td>21,400</td>
<td>14</td>
<td>17</td>
<td>75,500</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>10</td>
<td>10,700</td>
<td>15</td>
<td>13</td>
<td>70,200</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>7</td>
<td>52,900</td>
<td>16</td>
<td>16</td>
<td>46,400</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>7</td>
<td>36,700</td>
<td>17</td>
<td>16</td>
<td>33,400</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>7</td>
<td>35,100</td>
<td>18</td>
<td>16</td>
<td>28,800</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>7</td>
<td>9,900</td>
<td>19</td>
<td>13</td>
<td>40,500</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>7</td>
<td>8,900</td>
<td>20</td>
<td>13</td>
<td>28,800</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>6</td>
<td>10,700</td>
<td>21</td>
<td>13</td>
<td>21,400</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>5</td>
<td>18,700</td>
<td>22</td>
<td>13</td>
<td>20,500</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>5</td>
<td>10,800</td>
<td>23</td>
<td>12</td>
<td>34,900</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>5</td>
<td>10,600</td>
<td>24</td>
<td>12</td>
<td>28,500</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>5</td>
<td>9,900</td>
<td>25</td>
<td>11</td>
<td>28,700</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>5</td>
<td>9,300</td>
<td>26</td>
<td>11</td>
<td>25,900</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>5</td>
<td>5,400</td>
<td>27</td>
<td>11</td>
<td>24,800</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>4</td>
<td>22,100</td>
<td>28</td>
<td>11</td>
<td>22,400</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>4</td>
<td>22,000</td>
<td>29</td>
<td>11</td>
<td>19,900</td>
</tr>
<tr>
<td>30</td>
<td>4</td>
<td>21,300</td>
<td>30</td>
<td>11</td>
<td>16,200</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>529</td>
<td>1,838,500</td>
<td>合計</td>
<td>1,191</td>
<td>3,362,400</td>
</tr>
<tr>
<td>位数</td>
<td>機関名</td>
<td>2005年度件数</td>
<td>2005年度金額千円</td>
<td>2004年度件数</td>
<td>2004年度金額千円</td>
</tr>
<tr>
<td>------</td>
<td>------------------------</td>
<td>--------------</td>
<td>-----------------</td>
<td>--------------</td>
<td>-----------------</td>
</tr>
<tr>
<td>1</td>
<td>国東北大学</td>
<td>59</td>
<td>333,000</td>
<td>68</td>
<td>221,600</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>国東京大学</td>
<td>59</td>
<td>245,400</td>
<td>59</td>
<td>262,400</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>国大阪大学</td>
<td>51</td>
<td>163,000</td>
<td>46</td>
<td>109,600</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>国東京工業大学</td>
<td>44</td>
<td>222,000</td>
<td>50</td>
<td>155,700</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>国北海道大学</td>
<td>34</td>
<td>139,100</td>
<td>33</td>
<td>62,200</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>国京都大学</td>
<td>33</td>
<td>91,200</td>
<td>34</td>
<td>52,300</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>国九州大学</td>
<td>33</td>
<td>92,600</td>
<td>24</td>
<td>55,500</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>私早稲田大学</td>
<td>31</td>
<td>92,600</td>
<td>24</td>
<td>55,500</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>国電気通信大学</td>
<td>24</td>
<td>41,700</td>
<td>24</td>
<td>66,900</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>国九州工業大学</td>
<td>23</td>
<td>93,200</td>
<td>22</td>
<td>44,600</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>国名古屋大学</td>
<td>19</td>
<td>76,600</td>
<td>20</td>
<td>28,900</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>国名古屋工業大学</td>
<td>19</td>
<td>55,800</td>
<td>21</td>
<td>48,100</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>国静岡大学</td>
<td>18</td>
<td>81,800</td>
<td>23</td>
<td>46,100</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>国神戸大学</td>
<td>18</td>
<td>48,800</td>
<td>13</td>
<td>20,900</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>国立本大学</td>
<td>18</td>
<td>44,200</td>
<td>17</td>
<td>36,000</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>国新潟大学</td>
<td>15</td>
<td>37,200</td>
<td>16</td>
<td>24,500</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>国大阪府立大学</td>
<td>14</td>
<td>41,500</td>
<td>18</td>
<td>15,100</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>国筑波大学</td>
<td>12</td>
<td>42,000</td>
<td>13</td>
<td>25,400</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>国茨城大学</td>
<td>12</td>
<td>17,300</td>
<td>12</td>
<td>22,600</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>国山梨大学</td>
<td>12</td>
<td>14,400</td>
<td>17</td>
<td>22,600</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>国徳島大学</td>
<td>12</td>
<td>13,400</td>
<td>11</td>
<td>18,400</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>国金沢大学</td>
<td>11</td>
<td>29,300</td>
<td>10</td>
<td>31,900</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>国福山大学</td>
<td>11</td>
<td>25,100</td>
<td>11</td>
<td>25,600</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>国群馬大学</td>
<td>11</td>
<td>21,100</td>
<td>11</td>
<td>22,400</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>国千葉大学</td>
<td>11</td>
<td>20,500</td>
<td>13</td>
<td>12,400</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>国横浜国立大学</td>
<td>10</td>
<td>49,600</td>
<td>9</td>
<td>18,700</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>国長崎技術科学大学</td>
<td>10</td>
<td>34,000</td>
<td>13</td>
<td>33,100</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>私東京理科大学</td>
<td>10</td>
<td>24,400</td>
<td>7</td>
<td>25,100</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>国東京農工大学</td>
<td>10</td>
<td>22,000</td>
<td>5</td>
<td>22,200</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>国立環境研究所</td>
<td>6</td>
<td>33,100</td>
<td>3</td>
<td>33,100</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>国立環境研究所</td>
<td>6</td>
<td>33,100</td>
<td>3</td>
<td>33,100</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>国外交大学</td>
<td>6</td>
<td>10,900</td>
<td>7</td>
<td>10,900</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>位数</th>
<th>機関名</th>
<th>2005年度件数</th>
<th>2005年度金額千円</th>
<th>2004年度件数</th>
<th>2004年度金額千円</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>国 京都大学</td>
<td>73</td>
<td>221,600</td>
<td>53</td>
<td>262,400</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>国 東京大学</td>
<td>51</td>
<td>109,600</td>
<td>31</td>
<td>62,200</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>国 東北大学</td>
<td>44</td>
<td>155,700</td>
<td>27</td>
<td>62,200</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>国 名古屋大学</td>
<td>34</td>
<td>62,200</td>
<td>21</td>
<td>52,300</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>国 九州大学</td>
<td>33</td>
<td>52,300</td>
<td>20</td>
<td>61,600</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>国 岐阜大学</td>
<td>31</td>
<td>55,500</td>
<td>18</td>
<td>55,500</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>国 九州工業大学</td>
<td>24</td>
<td>46,100</td>
<td>24</td>
<td>46,100</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>国 九州工業大学</td>
<td>19</td>
<td>28,900</td>
<td>13</td>
<td>20,900</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>国 長岡技術科学大学</td>
<td>18</td>
<td>22,600</td>
<td>11</td>
<td>22,600</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>国 九州工業大学</td>
<td>18</td>
<td>18,400</td>
<td>9</td>
<td>18,400</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>国 富山大学</td>
<td>18</td>
<td>15,100</td>
<td>7</td>
<td>15,100</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>国 福島大学</td>
<td>18</td>
<td>13,900</td>
<td>5</td>
<td>13,900</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>国 徳島大学</td>
<td>18</td>
<td>12,400</td>
<td>7</td>
<td>12,400</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>国 熊本大学</td>
<td>18</td>
<td>10,900</td>
<td>7</td>
<td>10,900</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>国 滋賀大学</td>
<td>18</td>
<td>10,900</td>
<td>7</td>
<td>10,900</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>国 九州工業大学</td>
<td>18</td>
<td>10,900</td>
<td>7</td>
<td>10,900</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>国 九州工業大学</td>
<td>18</td>
<td>10,900</td>
<td>7</td>
<td>10,900</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>国 九州工業大学</td>
<td>18</td>
<td>10,900</td>
<td>7</td>
<td>10,900</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>国 九州工業大学</td>
<td>18</td>
<td>10,900</td>
<td>7</td>
<td>10,900</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>国 九州工業大学</td>
<td>18</td>
<td>10,900</td>
<td>7</td>
<td>10,900</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>国 九州工業大学</td>
<td>18</td>
<td>10,900</td>
<td>7</td>
<td>10,900</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>国 九州工業大学</td>
<td>18</td>
<td>10,900</td>
<td>7</td>
<td>10,900</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>国 九州工業大学</td>
<td>18</td>
<td>10,900</td>
<td>7</td>
<td>10,900</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>国 九州工業大学</td>
<td>18</td>
<td>10,900</td>
<td>7</td>
<td>10,900</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>国 九州工業大学</td>
<td>18</td>
<td>10,900</td>
<td>7</td>
<td>10,900</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>国 九州工業大学</td>
<td>18</td>
<td>10,900</td>
<td>7</td>
<td>10,900</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>国 九州工業大学</td>
<td>18</td>
<td>10,900</td>
<td>7</td>
<td>10,900</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>国 九州工業大学</td>
<td>18</td>
<td>10,900</td>
<td>7</td>
<td>10,900</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>国 九州工業大学</td>
<td>18</td>
<td>10,900</td>
<td>7</td>
<td>10,900</td>
</tr>
</tbody>
</table>
# 表2-11 工学「分科」別採択研究課題数上位30位（2005年度）（3）

<table>
<thead>
<tr>
<th>位置</th>
<th>種別</th>
<th>機関名</th>
<th>件数</th>
<th>金額</th>
<th>順位</th>
<th>種別</th>
<th>機関名</th>
<th>件数</th>
<th>金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>国</td>
<td>京都大学</td>
<td>45</td>
<td>135,300</td>
<td>34</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>83</td>
<td>376,900</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>36</td>
<td>124,800</td>
<td>44</td>
<td>国</td>
<td>大阪大学</td>
<td>50</td>
<td>349,200</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>私</td>
<td>早稲田大学</td>
<td>24</td>
<td>104,400</td>
<td>29</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>49</td>
<td>175,300</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>24</td>
<td>66,100</td>
<td>34</td>
<td>私</td>
<td>早稲田大学</td>
<td>20</td>
<td>76,300</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>22</td>
<td>62,300</td>
<td>22</td>
<td>私</td>
<td>日本大学</td>
<td>11</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>19</td>
<td>24,900</td>
<td>15</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>11</td>
<td>37,000</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>国</td>
<td>宇宙航空研究開発機構</td>
<td>11</td>
<td>23,600</td>
<td>13</td>
<td>国</td>
<td>筑波大学</td>
<td>11</td>
<td>24,500</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>国</td>
<td>早稲田大学</td>
<td>11</td>
<td>22,900</td>
<td>13</td>
<td>私</td>
<td>東京理科大学</td>
<td>11</td>
<td>9,200</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>11</td>
<td>21,800</td>
<td>11</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>34,300</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>国</td>
<td>大阪市立大学</td>
<td>9</td>
<td>24,900</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>国</td>
<td>大阪大学</td>
<td>14</td>
<td>30,400</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>34,300</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>16</td>
<td>46,500</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>13</td>
<td>39,300</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>国</td>
<td>千葉大学</td>
<td>13</td>
<td>28,200</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>国</td>
<td>大阪大学</td>
<td>11</td>
<td>45,800</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>国</td>
<td>大阪大学</td>
<td>10</td>
<td>19,400</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>国</td>
<td>京都大学</td>
<td>9</td>
<td>24,900</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>7</td>
<td>12,000</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>8</td>
<td>15,500</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>8</td>
<td>15,500</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>国</td>
<td>早稲田大学</td>
<td>8</td>
<td>14,700</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>国</td>
<td>名古屋工業大学</td>
<td>7</td>
<td>12,000</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>国</td>
<td>名古屋工業大学</td>
<td>6</td>
<td>14,300</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>国</td>
<td>横浜国立大学</td>
<td>5</td>
<td>8,700</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>5</td>
<td>8,700</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>国</td>
<td>名古屋工業大学</td>
<td>4</td>
<td>8,700</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>国</td>
<td>名古屋工業大学</td>
<td>4</td>
<td>8,000</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>国</td>
<td>名古屋工業大学</td>
<td>4</td>
<td>8,000</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>国</td>
<td>名古屋工業大学</td>
<td>4</td>
<td>8,000</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
<tr>
<td>30</td>
<td>国</td>
<td>名古屋工業大学</td>
<td>4</td>
<td>8,000</td>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>10</td>
<td>31,400</td>
</tr>
</tbody>
</table>

合計   | 643 | 1,513,400 | 636 | 689 | 2,464,000 |
表2－12 工学「分科」別採択研究課題数上位30位（2005年度）（4）

<table>
<thead>
<tr>
<th>顺位</th>
<th>種別</th>
<th>機関名</th>
<th>2005年度件数</th>
<th>金額/千円</th>
<th>2004年度件数</th>
<th>金額/千円</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>26</td>
<td>95,400</td>
<td>23</td>
<td>373,800</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>23</td>
<td>133,100</td>
<td>19</td>
<td>223,600</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>23</td>
<td>58,200</td>
<td>21</td>
<td>233,700</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>国</td>
<td>東北大学</td>
<td>18</td>
<td>138,200</td>
<td>17</td>
<td>116,000</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>国</td>
<td>東京工業大学</td>
<td>18</td>
<td>70,200</td>
<td>17</td>
<td>149,200</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>国</td>
<td>京都大学</td>
<td>18</td>
<td>63,900</td>
<td>17</td>
<td>63,900</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>17</td>
<td>59,400</td>
<td>16</td>
<td>59,400</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>17</td>
<td>41,800</td>
<td>15</td>
<td>41,800</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>17</td>
<td>25,000</td>
<td>14</td>
<td>25,000</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>国</td>
<td>平成大学</td>
<td>17</td>
<td>13,800</td>
<td>13</td>
<td>13,800</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>国</td>
<td>名古屋大学</td>
<td>16</td>
<td>78,200</td>
<td>12</td>
<td>78,200</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>国</td>
<td>大阪大学</td>
<td>16</td>
<td>59,700</td>
<td>11</td>
<td>59,700</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>16</td>
<td>59,400</td>
<td>10</td>
<td>59,400</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>16</td>
<td>41,800</td>
<td>9</td>
<td>41,800</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>国</td>
<td>九州大学</td>
<td>16</td>
<td>38,200</td>
<td>8</td>
<td>38,200</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>15</td>
<td>78,200</td>
<td>7</td>
<td>78,200</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>15</td>
<td>59,700</td>
<td>6</td>
<td>59,700</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>15</td>
<td>59,400</td>
<td>5</td>
<td>59,400</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>15</td>
<td>41,800</td>
<td>4</td>
<td>41,800</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>15</td>
<td>38,200</td>
<td>3</td>
<td>38,200</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>国</td>
<td>東京大学</td>
<td>15</td>
<td>25,000</td>
<td>2</td>
<td>25,000</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>15</td>
<td>19,800</td>
<td>1</td>
<td>19,800</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>15</td>
<td>17,800</td>
<td>0</td>
<td>17,800</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>15</td>
<td>15,400</td>
<td>0</td>
<td>15,400</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>15</td>
<td>13,800</td>
<td>0</td>
<td>13,800</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>15</td>
<td>12,000</td>
<td>0</td>
<td>12,000</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>15</td>
<td>11,500</td>
<td>0</td>
<td>11,500</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>15</td>
<td>10,400</td>
<td>0</td>
<td>10,400</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>15</td>
<td>9,000</td>
<td>0</td>
<td>9,000</td>
</tr>
<tr>
<td>30</td>
<td>国</td>
<td>北海道大学</td>
<td>15</td>
<td>4,700</td>
<td>0</td>
<td>4,700</td>
</tr>
</tbody>
</table>

合計：355件 1,241,900千円
合計：639件 2,266,300千円
図 2-15 応用物理学・工学基礎 採択研究課題数上位 30 位（2005 年度）
図2-16 機械工学 採択研究課題数上位

東北大学 国
東京工業大学 国
東京大学 国
京都大学 国
名古屋大学 国
大阪大学 国
九州大学 国
慶應義塾大学 私
神戸大学 国
東京農工大学 国
北海道大学 国
横浜国立大学 国
九州工業大学 国
名古屋工業大学 国
産業技術総合研究所 他
岡山大学 国
電気通信大学 国
首都大学東京 公
長岡技術科学大学 国
広島大学 国
早稲田大学 私
信州大学 国
静岡大学 国
東京理科大学 私
新潟大学 国
関西大学 私
埼玉大学 国
芝浦工業大学 私
京都工芸繊維大学 国
福井大学 国

図 2-16 機械工学 採択研究課題数上位 30 位（2005年度）
図2-17 電気電子工学 採択研究課題数上位30位（2005年度）
図2-18 土木工学 採択研究課題数上位30位（2005年度）
図2-19 建築学 採択研究課題数上位30位（2005年度）
図2-20 材料工学 採択研究課題数上位

採択研究課題数

0 20 40 60 80 100

東北大学 国
大阪大学 国
東京工業大学 国
東京大学 国
京都大学 国
名古屋大学 国
名古屋工業大学 国
東京理科大学 私
京都工芸繊維大学 国

図2-20 材料工学 採択研究課題数上位 30 位（2005年度）
図2-21 プロセス工学 採択研究課題数上位

採択研究課題数

図2-21 プロセス工学 採択研究課題数上位 30 位（2005 年度）
図2-2  総合工学 採択研究課題数上位30位（2005年度）